

ここは、  
みんなにとっての、  
大きな家のような  
場所。



13

13、14、15、16、17：取手井野団地  
この団地では、現代アートの手法を取り入れることで、住民と外部の人々との新しい交流が生まれている。  
現在は、団地住民が「ホテルマン」となって、外からゲストを招き、ユニークな方法でおもてなしをする「サンセルフホテル」というアートプロジェクトが開催されている。  
(茨城県取手市)



14



15



16



17

昼間に団地ツアーをしながら太陽電池で電気を蓄えて(写真13を参照)、夜、手づくりの太陽をみんなで空に掲げるとするのがこのアートプロジェクトのハイライト。なんとも言えない不思議な一体感が味わえる。

18、19、20：東雲キャナルコート CODAN  
毎年、イースターやクリスマス、ハロウィンなどの外国仕込みの季節のイベントが行われている。ここは外国人の居住者も多い。まち全体でお祝いしている感じが楽しい！  
(東京都江東区)



18



19




20

この冊子に登場するのはUR都市機構が手がける賃貸住宅です。  
礼金や更新料、保証人、仲介手数料を必要としない点が特徴のひとつです。  
一部を除いて、先着順で受け付けております。

UR賃貸住宅(首都圏)のお申し込みに関するお問い合わせ  
フリーダイヤル **0120-411-363**  
午前9時30分～午後6時(定休日：なし/年末年始を除く)

インターネットからのお申し込み  
**www.sumai.ur-net.go.jp**

右のQRコードを対応端末で読み取っていただくと、UR賃貸住宅のお申し込みサイトへアクセスできます。



この本の撮影にご協力くださったみなさん：  
戸頭団地のみなさん、取手井野団地のみなさん、鶴岡和輝さん、海岸真紀子さん、取手アートプロジェクト、北澤潤八雲事務所、サンセルフホテル井野団地「ホテルマン」チームのみなさん、カナリヤ幼稚園のみなさん、町田山崎稲作チームのみなさん、朝日向家のみなさん、武蔵野緑町パークタウンのみなさん、東雲キャナルコート CODANのみなさん

2014年4月1日 発行

発行：独立行政法人 都市再生機構 (UR都市機構) 技術・コスト管理部  
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー  
tel.045-650-0111 (代表)

企画・監修：(株)オープン・エー  
編集：安田洋平  
編集補助：佐藤可奈子  
撮影：ゆかい  
装丁：須山悠里  
印刷・製本：(株)八紘美術

協力：団地R不動産 www.realdanchiestate.jp



# 暮らしと。 コミュニティー



撮影：ゆかい





夏祭り、あります。秋の落ち葉掃除、あります。  
お掃除の後にはあったかいキノコ汁も振る舞われます。  
畑仕事や米づくり、しています。  
ヤギがいて、子どもたちと戯れてたり(注)。  
アートプロジェクトもやっています。  
これ全部、団地にあるコミュニティーの風景です。  
昔ながらの、ハートウォーミングな人と人とのつながりもあれば、ちょっとファンキーな一面も持っています。

(注) 2013年9月～11月にわたって、東京都町田市の町田山崎団地で「ヤギを使った除草実験」が行われました。現在は実験が終了し、ヤギはいません。

「暮らしと。」は、団地の環境を再発見するための写真集です。  
現在、「グリーン」「コミュニティー」「子ども」「スポーツ」「商店」の5冊を配布中。  
(詳しくは [www.kurashito.jp](http://www.kurashito.jp) まで)

この本は「コミュニティー」。カメラマンは、「ゆかい」のみなさん。

ゆかい プロフィール  
2006年設立。写真家・池田晶紀が主宰する写真事務所。ただ、川瀬一絵、池ノ谷侑花といった写真家のメンバーとともに書籍・雑誌・CD/DVDジャケット・広告・Webなどの写真を数多く手がける。映像制作やコミッションワークなども行っている。展覧会やワークショップの企画・運営、自主出版の活動など、写真を軸としたものづくりを多角的に展開。  
<http://yukaistudio.com/>

表紙の写真＝町田山崎団地(東京都町田市)



1



2



3



4



5

1、2、3、4、5：戸頭団地  
やっぱり夏は、祭りでしょ。今でも団地では夏祭りが毎年行われているところが少なくない。一緒に盆踊りしたり夜店回ったり。かつて団地に住んでいた者同士が、久しぶりに再会して旧交を温め合う姿。(茨城県取手市)



6

6、7、8：武蔵野緑町パークタウン  
秋になると、この団地ではみんなで落ち葉を一齐に掃除する。木がいっぱいだからほら、落ち葉もこんなに！  
お掃除が終わったあとは炊き出しのきのこ汁を堪能。この笑顔！  
(東京都武蔵野市)



7



8



9



10



11



9、10、11、12：町田山崎団地  
一見、レトロな団地だが実は先進的な実験を行っている。機械で草を刈る代わりに雑草をヤギに食べさせる「エコ除草」の試みで、一時期ヤギがいた。(注)  
また、団地内に田んぼがあって、住民が毎年米作りを行っている。(注)実験が終了したため、現在はヤギはいません。  
(東京都町田市)

12